



# 東 風

糸島市立東風小学校学校通信  
172号 文責 校長 重富 泰敏  
令和4年1月28日

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について

1月27日（木）の時点で、福岡県の新型コロナウイルス感染者数が3955人と、3日連続で過去最多を更新しています。こうしたことから、福岡県は27日、これまで出していた『コロナ警報』を『特別警報』に引き上げました。

学校でも、学習と生活の感染防止対策レベルを「高」にして、指導と対応にあたっているとこです。このような中、本日、糸島市教育委員会からの文書「新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について」を配布しています。

1月に入っての感染急拡大に伴い、糸島市教育委員会と保健所との協議の上、今後の対応内容が記載されています。内容を御確認いただき、今後の方針への御理解と御協力をよろしくお願いします。東風小学校からは、ここ数日の「安心・安全メール」やお知らせとお願いプリント配布で、以下の4点についてお願いをしています。

- 1 お子様や同居家族が、「抗原検査」やPCR検査を受けることが分かった場合は、すみやかに学校まで御連絡いただくようお願いします。
- 2 お子様や同居家族が発熱や咳、風邪症状や体調不良がある場合は、お子様の登校前に、学校まで連絡・相談いただきますようお願いします。
- 3 同居の家族（兄弟・姉妹）が通う、異校種（中学校や高校、幼稚園や保育園等）が学級閉鎖や自宅待機となった場合は、学校まで連絡・相談をお願いします。
- 4 学級閉鎖時を想定し、早く確実に関係学級等の情報を保護者の皆様にお知らせするため、「安心・安全メール」の更新等、正しい学級への登録をお願いしています。少しでも早く現在のお子様の学級での登録を行っていただき、御不明の場合は担任まで連絡いただきますようお願いします。

上記対策では、お子様の状況に対して、御家庭から大変協力的な対応をいただいております。この場を借りて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今後も基本的な感染防止対策について、お子様の健康状況や体調で、心配なことがある場合は、担任か教頭等まで連絡いただきますようお願いします。

また、社会的に大変不安な状況になっています。厳しい状況のしわ寄せが子どもたちにいかないためにも、わたしたち大人（学校・家庭・地域）の連携・協働が大変重要だと考えます。以下の3点を大切にしていきたいと考えます。

- ・ 子どもの声（思いや願い）をじっくり聴いて、受けとめること。
- ・ ふれあいやスキンシップ等のコミュニケーションを少しでも取ること。
- ・ 早寝・早起き朝ご飯、十分な睡眠と休養の生活リズムを大切にすること。

お子様の家庭生活での心配事やお困り等ありましたら、気軽に学校まで御相談ください。お待ちしております。

## 給食記念週間

1月24日～1月28日は東風小での給食感謝週間でした。  
いつもあたりまえに食べている給食ですが、このような取組を通して、食べ物や給食にかかわる人たちのことについて考えてほしいと思います。



東風小では、栄養教諭の出利葉先生が、給食にちなんだ授業をしたり、テレビ放送で給食に関するクイズや説明をしたりしてくれました。

○ 日本で初めて給食が始まったのは、明治22年、今から130年前だということ。

○ 給食を食べることができるので安心して勉強できるようになったこと。

○ 給食にたずさわってくれるたくさんの人たちの努力でおいしい給食を食べることができていること。

【給食に関わる人たち】



・ 野菜と届けてくれる生産者の人たち（はるかぜグループのみなさん）

・ 給食をつくってくれる調理員さんたち（全員で9人おられます）

・ その他の材料や料理の味付けに使う調味料を運んでくれる人たち（伊都菜彩等）

・ 給食費を払ってくれるお家の人たち

※子どもたちにおいしい給食を食べてほしい！元気に成長してほしい！と いうたくさんの人たちの願いや努力 で給食を食べることができています。これからも、食することへの「感謝」の気持ちを大切に、残さずたくさん食べてもらいたいと思います。

「おいしい給食いただきます！！」

【写真は上から、・担任と栄養教諭の連携・大きなしゃもじでハイチーズ・調理員さんからのメッセージ】

## 後期の図書がおさめられました

東風小に、後期図書として、80冊の本が納められました。

中田先生からは、「今回は、子どもたちから人気のあるシリーズものや物語を入れました。楽しく読んでもらいたいと思います！」とのことでした。

1月24日から学年ごとに貸し出しをスタートしています。

今後も蔵書の充実や、学校図書館内の環境整備・充実に向けて取り組んでいきます。



## 冬野菜の収穫～大きなカブをいただきました！～



冬の野菜の収穫で、ひまわり学級のみんなが大きなカブを収穫して見せてくれました！サッカーボールくらいのサイズに、みんなびっくり！ダイコンかカブのどちらかを一人ひとつずつ持ち帰ることにしていましたが、このカブはあまりに大きかったので校長先生にあげようということになり、大きな歓声がわいたとのことでした。

感染対策を取りながらも、嬉しい活動ができています。ありがたい体験です。

そして、ありがたい子どもたちの気持ちです。